



Sun Fire™ 6800/4810/4800/3800 システム ハードウェアご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 816-0371-14
2002年8月, Revision A

コメントの宛先: docfeedback@sun.com

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIXは、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Fire, SunSolve Online, Sun Spectrum は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Fire 6800/4810/4800/3800 Systems Hardware Product Notes
	Part No: 806-7217-15 v2
	Revision A



ご使用にあたって

このマニュアルでは、Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのハードウェアに関する最新の情報について説明します。このマニュアルは、次の節で構成されます。

- 1 ページの「サポートされる機能とされない機能」
- 2 ページの「新しい現場交換可能ユニット」
- 4 ページの「一般的な注意および注、警告」
- 6 ページの「マニュアルについて」
- 6 ページの「差し替えページ」

サポートされる機能とされない機能

- 動的再構成 (DR) は、リリース 5.12.6 以上のファームウェアが搭載されたすべての Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムで使用できます。
- システムコントローラのフェイルオーバー機能は、リリース 5.13.0 以上のファームウェアが搭載されたすべての Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムで使用できます。初期のファームウェアバージョンでは、システムコントローラのクロックフェイルオーバー機能だけがサポートされているため、障害が発生したシステムコントローラボードを交換する場合は、Sun Fire システムの電源を切る必要があります。

新しい現場交換可能ユニット

新しい UltraSPARC III CPU/メモリー+ ボード

CPU/Memory boards w/ 2 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory, SB0-SB5	F540-4729
CPU/Memory boards w/ 4 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory, SB0-SB5	F540-4730

CPU/Memory+ boards w/ 2 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory, SB0-SB5	F540-5051
CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory, SB0-SB5	F540-5052
CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 1050 MHz, 0 MB memory, SB0-SB5	F540-5267



注意 - 同じシャーシ内での CPU/メモリーボードと CPU/メモリー+ ボードの組み合わせは、サポートされていません。同じシャーシには、同一タイプの CPU/メモリーボード (すべて CPU/メモリーボード、またはすべて CPU/メモリー+ ボード) を取り付ける必要があります。

注 - 新しい UltraSPARC[®] III CPU/メモリー+ ボードは、Solaris 8 10/01 以上のオペレーティング環境と互換性があります。

注 - 新しい 900 MHz の UltraSPARC III CPU/メモリー+ ボードは、バージョン 5.12.7 以上のファームウェアと互換性があります。

注 - 新しい 1050 MHz の UltraSPARC III CPU/メモリー+ ボードは、バージョン 5.13.2 以上のファームウェアと互換性があります。

Sun Fire 3800 の新しい cPCI I/O アセンブリ

Sun Fire 3800 cPCI I/O Assembly

F540-4591-03

Sun Fire 3800 の新しい cPCI I/O アセンブリ (パーツ番号 F540-4591-03) は、ホットスワップ可能な cPCI カードの動的再構成をサポートします。以前の cPCI I/O アセンブリ (パーツ番号 F540-4591-02) が装備されている Sun Fire 3800 システムで動的再構成機能を使用する場合は、新しい cPCI I/O アセンブリについてご購入先にお問い合わせください。

Sun Fire 3800 の新しい電源装置

200 ~ 240 V 電圧を使用する国では、16 A 以下の電流保護装置が必要です。200 ~ 240 V 電圧を使用するすべての国々では、Sun Fire 3800 システムに新しいプラグ型のタイプ A 電源装置が搭載されて出荷されます。

A145E power supply

F300-1529



注意 – A145E 電源装置には、ファームウェア 5.12.5 以上が必要です。A145E F300-1529 電源装置は、以前のファームウェアのバージョンとは互換性がありません。A145 電源装置は、必要に応じてご購入先にて A145E 電源装置と交換できます。A145E 電源装置をサポートするすべてのファームウェアは、A145 電源装置もサポートするため、同じシステム内に 2 つのタイプの電源装置を共存させることができます。

一般的な注意および注、警告

脱落防止機構付きねじ



注意 – システムコントローラボードおよび電源装置、I/O アセンブリを取り出す前には、すべての脱落防止機構付きねじを完全に緩めてください。脱落防止機構付きねじを完全に緩めていないと、システムコントローラボードおよび電源装置、I/O アセンブリが損傷することがあります。

cPCI カードの取り外しレバー

cPCI カードを正しく取り付けないと、カードが cPCI アセンブリ内で詰まることがあります。

cPCI カードの挿入

1. 正面パネルを押して、カードを完全に I/O アセンブリに収めます。
カードを挿入しているときに、レバーを押さないでください。
2. レバーを押して、ロックします。

cPCI カードの取り外し

1. 赤いレバーロックを横方向に押して、ロックを解除します。
オレンジ色の取り外し可能 LED が点灯します。
2. レバーを外側に倒し、カードをスライドさせてスロットから取り出します。

詳細は、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムサービスマニュアル』を参照してください。

ファンの回転速度メッセージ

ファンの回転速度が変更されると、ファンの回転速度メッセージが「注意 (NOTICE)」ではなく「警告 (WARNING)」として表示されます。システムのすべてのファンの冷却機能が不足するか、CPU の環境しきい値を超えた場合、ファンは低速から高速に切り替わります。showenv -v コマンドを使用すると、CPU の環境しきい値に関する情報が確認できます。showenv コマンドの正しい使用方法については、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムコントローラコマンドリファレンスマニュアル』を参照してください。この「警告」メッセージが表示されても、システムに問題はなく、温度仕様の範囲内にあります。

Sun Fire キャビネットのファントレーの電源スイッチ

Sun Fire キャビネットのファントレーが動作していない場合は、ファントレーに電源が入っているかどうかを確認してください。ファントレーの電源スイッチは、各キャビネットファントレーの背面の、電源コードソケットの下にあります。

交換用ボードおよびアセンブリ上のファームウェア

ボードまたはアセンブリを取り付けたあとは、showboards -p proms コマンドを使用して、ファームウェアの更新が必要かどうかを判定してください。更新が必要な場合は、システムコントローラの flashupdate -f または flashupdate -c コマンドを使用します。flashupdate コマンドの正しい使用方法については、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムコントローラコマンドリファレンスマニュアル』を参照してください。

注 – 画面上のメッセージどおりに、flashupdate -u コマンドを使用しないでください。flashupdate -u コマンドを使用すると、非互換の問題が発生して、システムコントローラおよびドメインの再起動が必要になる可能性があります。

バグの修正用およびシステムファームウェアアップグレード用の最新パッチのリストは、SunSolve Onlinesm で参照できます。SunSolve では、すべてのユーザーを対象に Y2K パッチなどの推奨パッチおよびセキュリティパッチを提供しています。SunSpectrumsm の契約ユーザーは、その他の製品および OS のパッチを利用できます。最新のパッチおよびシステムファームウェアのアップグレードについては、ご購入先にお問い合わせください。

スイスにおける注意事項



注意 – Sun Fire 3800 システムは、スイスのプラグ型のタイプ A 装置の定格要件を超えます。スイスでの国内要件を満たすには、スタンダードの Sun Fire 3800 システム (ラックなし) を受け取ったユーザーは、システムをプラグ型のタイプ B 電源回路に接続するようにしてください。

マニュアルについて

『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムサービスマニュアル』の訂正

第 3 章 – UltraSPARC III+ (Cu) 1050 MHz プロセッサが使用可能になりました。更新されたページ (17 ~ 18、29 ~ 32) は、このマニュアルに含まれています。

付録 A – FrameManager LCD の表示に関するデータが変更されたため、関連するページが更新されました。更新されたページ (201 ~ 204) は、このマニュアルに含まれています。

付録 C – UltraSPARC III+ (Cu) 1050 MHz プロセッサが使用可能になりました。更新されたページ (231 ~ 238) は、このマニュアルに含まれています。

差し替えページ

以降の節は、差し替え用のページです。各ページの下部に記載されたページ番号で、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムサービスマニュアル』での位置を判断してください。

ページの交換

1. マニュアルのバインダセットから、古いページを取り外します。
2. このマニュアルから新しいページを取り外して、マニュアルのバインダセットの古いページがあった場所に差し込みます。



注意 – ボードのヒートシンクは、梱包方法を誤ると破損します。ボードを保存または運搬する場合は、ヒートシンクが十分に保護されていることを確認してください。

注 – CPU/メモリーボードは、電源が投入されているシステムへの挿入が可能です。動的再構成 (DR) を行ってドメインにボードを組み込むか、ドメインを再び初期化および起動するまで、挿入したボードはシステムに認識されません。DR 手順の詳細は、『Sun fire 6800, 4810, 4800, 3800 Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』を参照してください。ドメインの再初期化の詳細は、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムプラットフォーム管理ガイド』を参照してください。

フィルターパネルおよびフィルターボード

システムから CPU/メモリーボードを取り外す場合は、システムの過熱を防ぐため、4 ページの「フィルターボードおよびフィルターパネル」の指示に従ってください。

CPU/メモリーボード

すべてのシステムは、次のものをサポートします。

- 最大 4 つの CPU プロセッサ。各プロセッサには、バンクごとに 4 つの DIMM を持つ 2 つの DIMM バンクをサポートしています。
- 8 つの外部キャッシュモジュール (CPU プロセッサごとに 2 つ)
- CPU プロセッサごとに最大 8G バイトのメモリー (CPU/メモリー+ ボードのみ)
- 最大 32 の DIMM




メモリーコントローラは、CPU/メモリーボード上で CPU プロセッサに統合されています。CPU/メモリーボードには、CPU プロセッサおよび外部キャッシュを保護する金属のカバーがあります。

使用できる CPU/メモリーボードには、次の 3 種類があります。

- UltraSPARC™ III 750 MHz プロセッサ – CPU/メモリーボード
- UltraSPARC III+ (Cu) 900 MHz プロセッサ – CPU/メモリー+ 900 ボード
- UltraSPARC III+ (Cu) 1050 MHz プロセッサ – CPU/メモリー+ 1050 ボード

CPU/メモリーボードには、3つのLEDがあります。表 3-1 に、LED の機能を示します。

表 3-1 CPU/メモリーボードのLEDの機能

LED		点灯	消灯
起動 LED (緑色)		装置は稼働状態	装置は非稼働状態
障害 LED (オレンジ色)		内部障害	内部障害なし
取り外し可能 (オレンジ色)		アセンブリ取り外し可	アセンブリ取り外し不可

注 – 動的再構成 (DR) を行ってドメインにボードを組み込むまで、挿入したボードはシステムに認識されません。

5. 次のどちらかの方法で、システムに CPU/メモリーボードを再構成します。

- 動的再構成 (DR) を行い、CPU/メモリーボードを再びドメインに組み込みます。
詳細は、『Sun fire 6800, 4810, 4800, 3800 Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』を参照してください。
- ボードに電源を投入して、ドメインを初期化します。
ボードの電源投入および初期化の詳細は、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムプラットフォーム管理ガイド』を参照してください。

注 – 起動 LED が点灯していることを確認します。

DIMM の交換

CPU/メモリーボードには、32 の DIMM ソケットがあり、バンクごとに 4 つの DIMM を取り付けられる 8 つのバンクに分かれています。各 CPU プロセッサには、2 つの対応する DIMM バンクがあります。CPU プロセッサの対応する DIMM バンクに DIMM を取り付けないことも可能ですが、DIMM が取り付けられている DIMM バンクには、必ず対応する CPU プロセッサを取り付けてください。

DIMM バンクには、次の 3 種類の DIMM を取り付けできます。

- 256M バイト
- 512M バイト
- 1G バイト

図 3-9 に、8 つの DIMM バンクの DIMM 番号を示します。

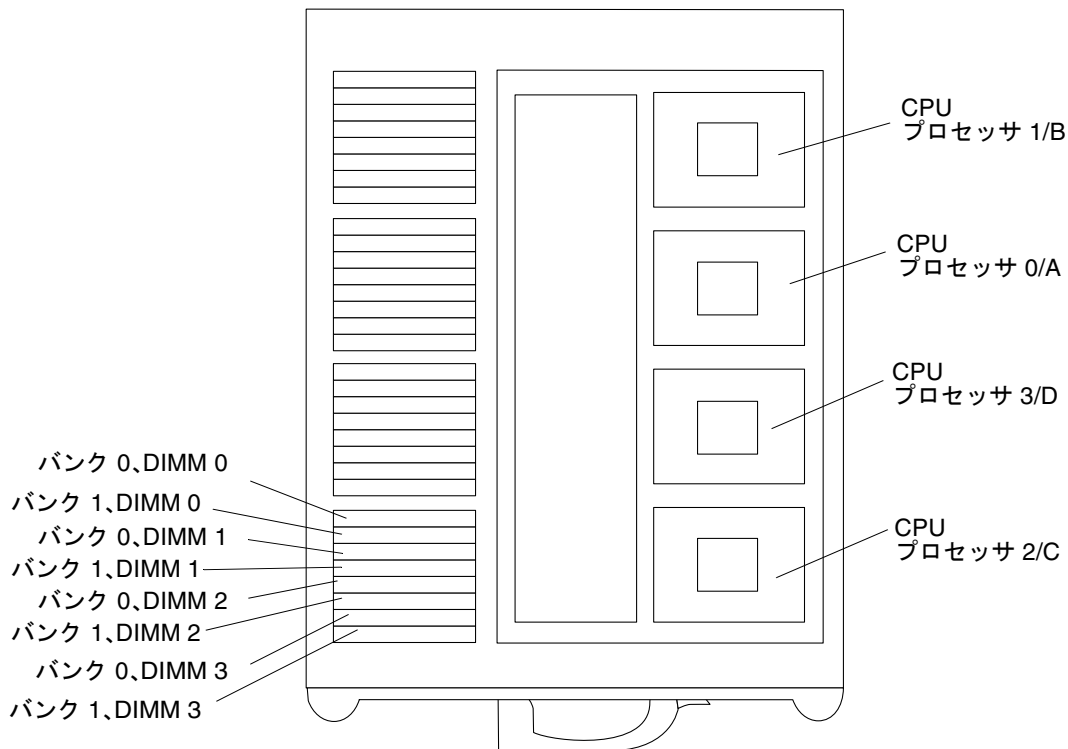


図 3-9 DIMM のスロット番号

DIMM 番号およびバンク番号は、どの CPU プロセッサでも、上に示す CPU プロセッサ 2 と同じ順番です。CPU プロセッサの番号は、金属のカバーに記載されています。

DIMM バンクの構成ガイドライン



注意 – 1G バイトの SDRAM DIMM (パーツ番号 F501-6109) は、CPU/メモリー+ 900 ボードおよび CPU/メモリー+ 1050 ボードだけで使用できます。

次の DIMM の構成ガイドラインに従ってください。

- 各 DIMM バンクには、同じサイズの DIMM を取り付けてください。
- 大容量の DIMM を取り付けてから、小容量の DIMM を取り付けてください。
- 1 つの CPU プロセッサに取り付けることができる DIMM の数は、4 つ以上 (1 バンク以上) です。

- 各 CPU/メモリーボードの CPU プロセッサの数が同じ場合は、DIMM バンクの数が少ない CPU/メモリーボードに DIMM を取り付けてから、DIMM バンクが多い CPU/メモリーボードに取り付けます。
- CPU/メモリーボードによって CPU プロセッサの数が異なる場合は、CPU プロセッサの数がもっとも多いボードの DIMM バンクに DIMM を取り付けます。ほかのボードには、対応する DIMM がない CPU プロセッサが存在します。

DIMM の取り外し



注意 – システムは静電気に弱い電子部品で作られています。システムコンポーネントを扱う場合は、必ずアース用ストラップを装着してください。コンポーネントは、常にシステムの近くのアースされた ESD マットの上に置いてください。

1. 該当する CPU/メモリーボードを取り外します。
詳細は、22 ページの「CPU/メモリーボードの交換」を参照してください。
2. 作業台の ESD マットの上に CPU/メモリーボードを置きます。
3. 交換する DIMM のスロットを確認します。
4. DIMM コネクタの両側の取り外しレバーを押し下げて、故障した DIMM を取り出します (図 3-10)。

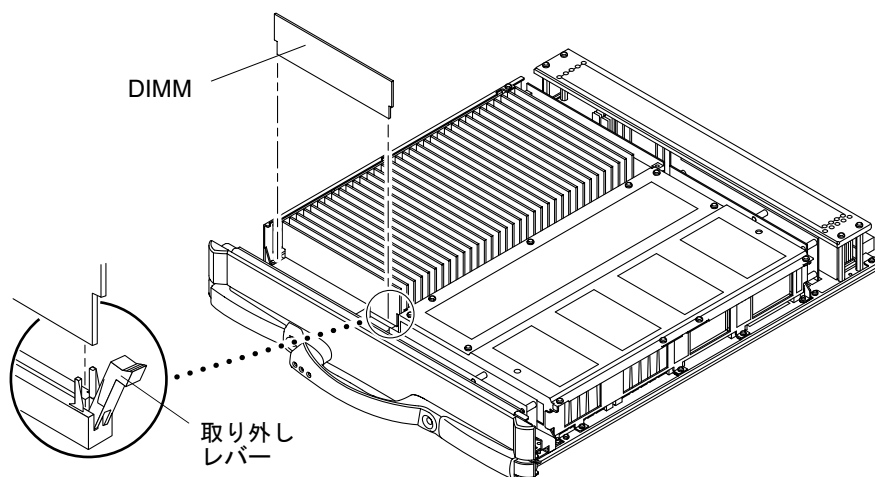


図 3-10 DIMM の取り外し

5. DIMM の端を持ち、スロットから取り出して、静電気防止用マットなどの上に置きます。

DIMM の取り付け

各ボードの 1 つのバンクがいっぱいになってから、ほかのボードの残りのバンクを使用してください。

注 – すべてのバンクに、同じサイズの DIMM を取り付けてください。同じサイズごとに、DIMM を取り付けるバンクを分けてください。

注 – CPU0 および CPU2 に関連付けられるメモリーバンクは、同じ方向を向いています。CPU1 および CPU3 のバンクは、180 度反対の方向を向いています。



注意 – システムおよび DIMM は静電気に弱い電子部品で作られています。DIMM の損傷を防ぐため、DIMM を取り扱うときは、必ずアース用ストラップを装着してください。コンポーネントは、常にシステムの近くのアースされた ESD マットの上に置いてください。

1. 該当する CPU/メモリーボードを取り外します。
詳細は、22 ページの「CPU/メモリーボードの交換」を参照してください。
2. 作業台の ESD マットの上に CPU/メモリーボードを置きます。
3. 新しい DIMM を保護パッケージから慎重に取り出して、静電気防止用マットなどの上に置きます。
DIMM が梱包されている保護パッケージには、静電気保護対策が十分に施されています。
4. 新しい DIMM を取り付ける DIMM コネクタスロットの両端にある取り外しレバーを押し下げます。
レバーが挿入 (開) 位置にないと、コネクタスロットに DIMM を挿入できません。
5. DIMM の短い方の切り欠けと長い方の切り欠けを、DIMM コネクタの短い方および長い方に合わせます。

ソフトウェア

システムコントローラソフトウェア

システムコントローラソフトウェアは、この製品で新しく追加されました。システムコントローラソフトウェアには、次のような機能があります。

- ボードまたはファントレー、電源グリッド、システム全体の電源投入
- コンポーネントのホットプラグ機能またはホットスワップ機能
- 構成の制御
- 環境状態の表示
- ドメインの再編成
- システムコントローラのパスワードの変更

FrameManager ソフトウェア

FrameManager は LCD ディスプレイで、システムキャビネットの最上部にあります。FrameManager の主な機能は、キャビネット内の RTU および RTS、ファントレー、FrameManager の障害または警告を表示することです。

LCD ディスプレイには、次の情報が表示されます。

- FrameManager の MAC アドレス
- FrameManager ソフトウェアのバージョン
- ビーチボールまたはレンチ

表 A-2 FrameManager LCD の表示

LCD の表示	意味
回転する ビーチボール	FrameManager が正常に起動され、操作モードで動作しています。
停止している ビーチボール	FrameManager の起動に失敗しました。Frame Manager は、約 4 秒以内に再起動されます。
回転するレンチ	FrameManager またはソフトウェアの障害のため、FrameManager が保守モードになっているか、保守モードで起動されています。FrameManager を再起動する場合は、キャビネットの両方のファントレーの電源を切り、10 秒間待ってから再びファントレーの電源を入れます。それでもレンチが表示されている場合は、FrameManager を交換してください。

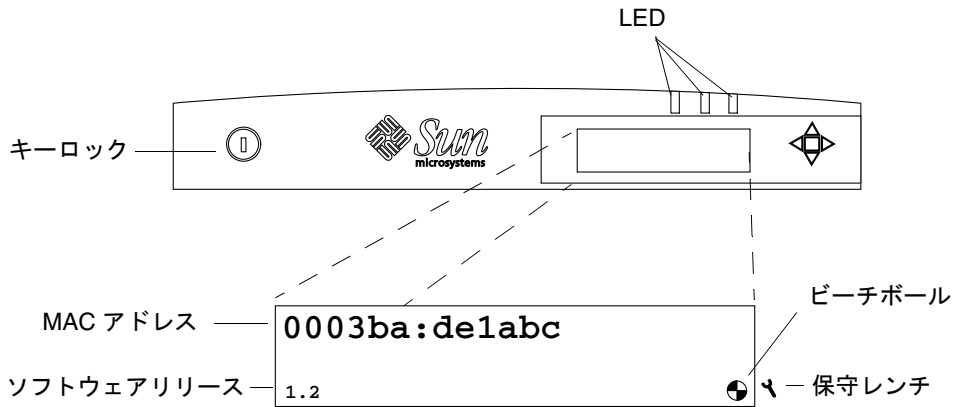


図 A-6 FrameManager ソフトウェアリリース 1.2 LCD ディスプレイ

FrameManager には、電源および障害、保守の 3 つの LED があります (表 A-3)。

表 A-3 FrameManager の LED の機能

LED	機能	操作
起動 LED (緑色)	電源	RTS の電源が投入された場合に点灯します。
障害 LED (オレンジ色)	障害	フレーム内に障害状態がある場合にのみ点灯します。遠隔コマンドによって点灯させることもできます。
取り外し可能 LED (オレンジ色)	保守	次のいずれかの場合に点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> ファントレーが検出され、その保守インジケータが点灯している場合 RTS モジュールが検出され、そのモジュールに障害がある場合 上部のキャップで障害が検出された場合、または遠隔コマンドによって点灯が指示された場合

装置のホットプラグ手順

電源装置およびファントレイは、ホットプラグが可能です。装置がホットプラグ可能な場合、Solaris オペレーティング環境からの介入は不要です。システムコントローラソフトウェアを使用して装置の電源を切断し、オレンジ色の取り外し可能 LED が点灯している場合は、システムから装置を安全に取り外せます。

ファントレイまたは電源装置のホットプラグを行う場合は、システムからコンポーネントを取り外してから 1 分以内に、交換用の部品を取り付ける必要があります。ボードや装置を安全に取り外すため、オレンジ色の取り外し可能 LED が点灯していることを確認してください。

CPU/メモリーボード

CPU/メモリーボードは、最大 4 つの CPU および 8 つの外部キャッシュバンク、32 枚の DIMM (CPU 1 つにつき DIMM バンクが 2 つ、DIMM バンク 1 つにつき DIMM が 4 枚) をサポートします。

コンポーネントを取り付けるために CPU/メモリーボードを取り外す場合は、ボードを取り外してから 1 分以内に、ボードスロットを保護する CPU/メモリーボードのフィルターパネルまたはフィルターボードをボードスロットに取り付けてください。フィルターボードまたはフィルターパネルは、システムの過熱を防ぎます。

ボード間でコンポーネントを交換するために 2 枚の CPU/メモリーボードを取り外す場合は、一方のボードスロットにフィルターパネルを取り付け、もう一方の CPU/メモリーボードスロットにフィルターボードを取り付ける必要があります。

その他の空いている CPU/メモリーボードスロットには、すべてフィルターボードを取り付けてください。

図 A-7 に、CPU プロセッサおよび外部キャッシュモジュールカバーを取り外したときの CPU/メモリーボードを示します。2 つの外部キャッシュモジュールは、CPU プロセッサの両側にあります。

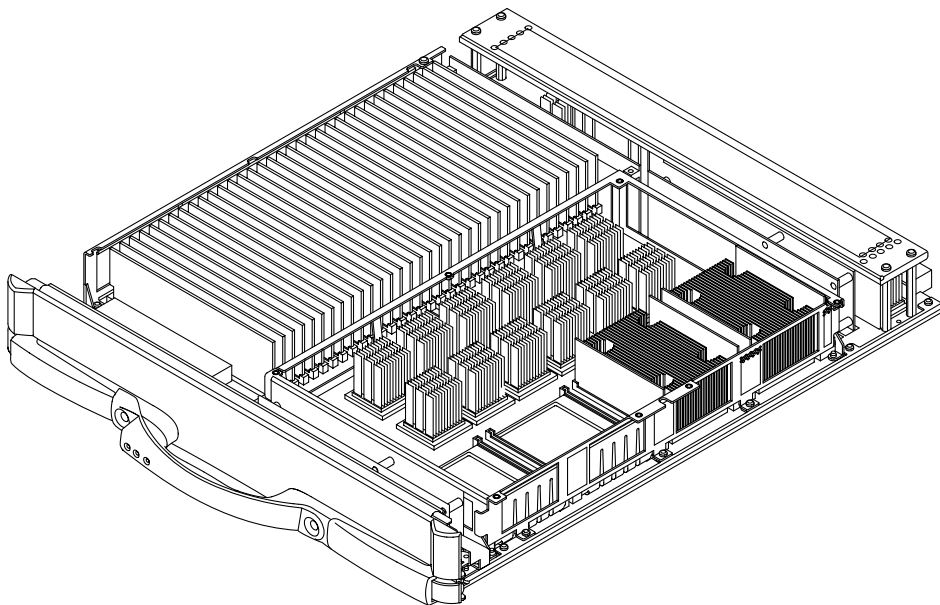


図 A-7 カバーを取り外した CPU/メモリーボード

表 A-4 に、CPU/メモリーボードのスロットの場所を示します。

表 A-4 CPU/メモリーボードのスロットの場所

システム	CPU/メモリーボード スロットの数	スロット番号	場所
Sun Fire 6800 システム	6	SB0 ~ SB5	正面
Sun Fire 4810 システム	3	SB0、SB2、SB4	正面
Sun Fire 4800 システム	3	SB0、SB2、SB4	背面
Sun Fire 3800 システム	2	SB0、SB2	正面

注 - ボードのスロット番号は、シャーシに記載されています。

番号	説明	パーツ番号
1	System Controller board, SSC1	F501-5407
2	System Controller board, SSC0	F501-5407
3	Power supplies (最大 6 つ), PS0 ~ PS5	F300-1459
4	Air inlet screen	F240-3530
5	CPU/Memory boards w/ 2 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory (最大 6 つ), SB0 ~ SB5	F540-4729
	CPU/Memory boards w/ 4 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory	F540-4730
	CPU/Memory+ boards w/ 2 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory	F540-5051
	CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory	F540-5052
	CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 1050 MHz, 0 MB memory	F540-5267
6	Fan tray, FT1	F540-3632
7	Fan tray, FT3	F540-3632
8	Air outlet screen	F240-3531
9	I/O assemblies (最大 4 つ), IB6 ~ IB9, PCI	F540-4616
	I/O assemblies (最大 4 つ), IB6 ~ IB9, CPCI	F501-4617
10	Fan tray, FT0	F540-3631
11	Fan tray, FT2	F540-3631
12	AC input box, AC0	F540-3588
13	Repeater boards (最大 4 つ), RP0 ~ RP3	F501-4953
14	Patch panel	F540-3996
15	AC input box, AC1	F540-3588
	System centerplane	F501-5879
	Power centerplane	F501-5005
	Fan centerplane	F501-5006
	ID source board	F501-5880
	Cable, system centerplane power	F530-2545
	Cable, fan tray centerplane power	F530-2546
	Cable, AC input tray	F530-2560
	Cable, peripherals	F530-2563
	Cable, RJ-45 shielded Ethernet	F530-2573

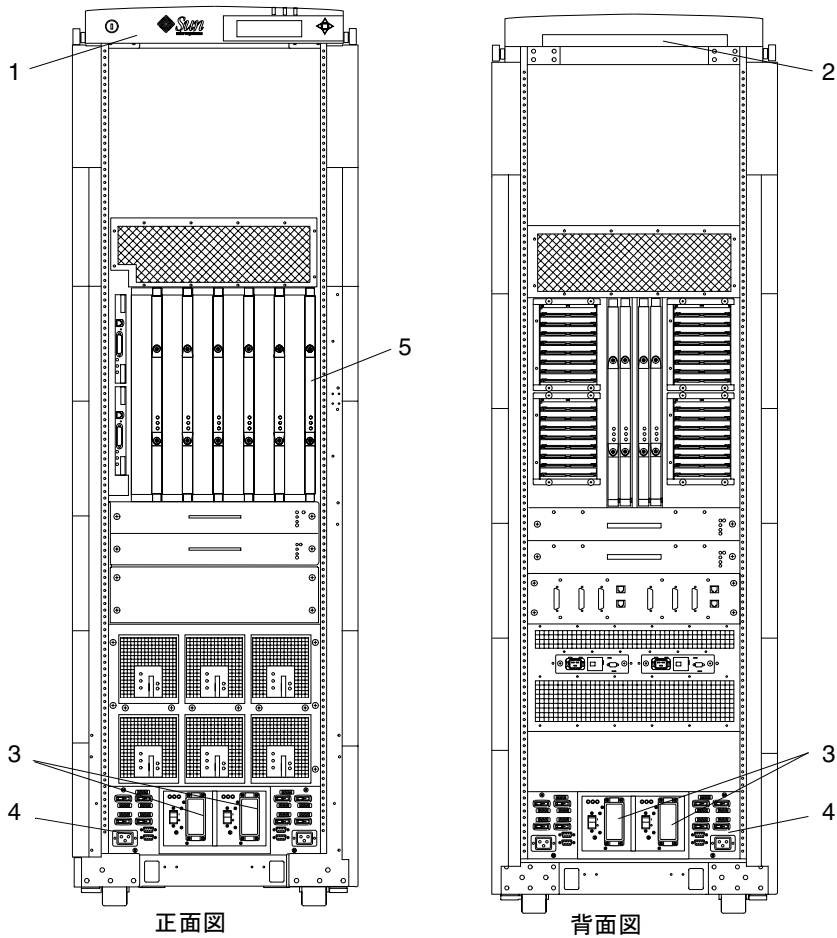


図 C-2 Sun Fire 6800 システムキャビネット

番号	説明	パーツ番号
1	FrameManager	F540-3883
2	Fan trays (最大 2 つ)	F540-3662
3	RTS Module	F300-1396
4	RTU Assembly	F300-1335
5	EMI Clip (シャーシの右側、SB5 の奥)	F240-3920

Sun Fire 4810 システムの交換部品

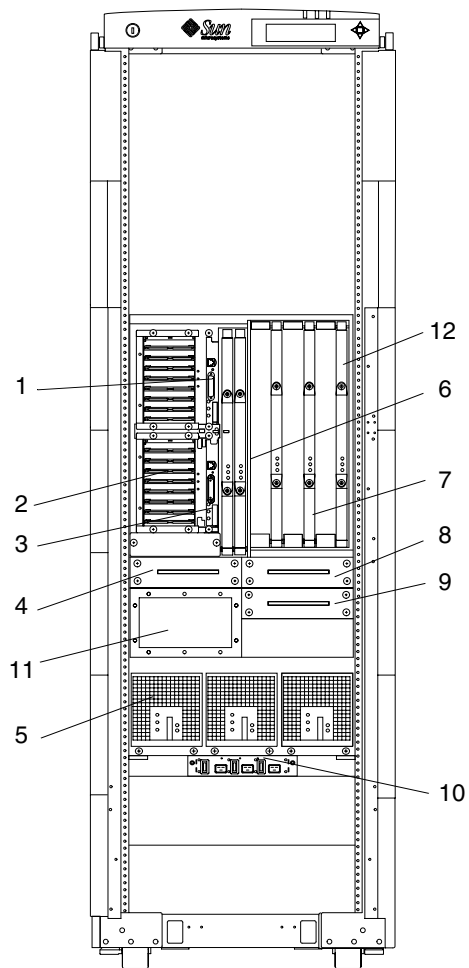


図 C-3 オプションの Sun Fire キャビネットに搭載されている Sun Fire 4810 システム (正面図)

番号	説明	パーツ番号
1	System Controller board, SSC1	F501-5407
2	I/O assemblies (最大 2 つ), IB6, IB8, PCI	F540-4616
	I/O assemblies (最大 2 つ), IB6, IB8, CPCI	F501-4617
3	System Controller board, SSC0	F501-5407
4	Fan tray, FT0	F540-3639
5	Power supplies (最大 3 つ), PS0 ~ PS2	F300-1459
6	Repeater boards (最大 2 つ), RP0, RP2	F501-4953
7	CPU/Memory boards w/ 2 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory (最大 3 つ), SB0, SB2, SB4	F540-4729
	CPU/Memory boards w/ 4 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory	F540-4730
	CPU/Memory+ boards w/ 2 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory	F540-5051
	CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory	F540-5052
	CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 1050 MHz, 0 MB memory	F540-5267
8	Fan tray, FT2	F540-3639
9	Fan tray, FT1	F540-3639
10	AC input box	F540-4346
11	Air inlet screen	F240-3534
12	EMI Clip (シャーシの右側、SB4 の奥)	F240-3920
	Air outlet screen	F240-3535
	System centerplane	F501-5878
	Power centerplane	F501-5029
	ID source board	F501-5880
	Cable, system centerplane power	F530-2543

Sun Fire 4800 システムの交換部品

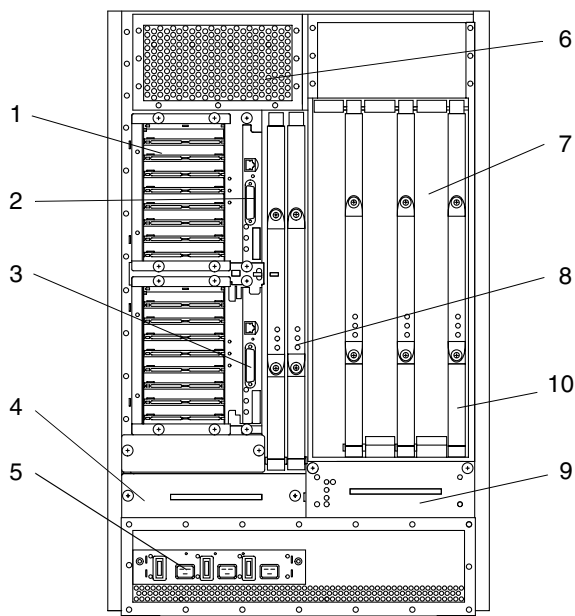


図 C-4 Sun Fire 4800 システム (背面図)

番号	説明	パーツ番号
1	I/O assemblies (最大 2 つ), IB6, IB8, PCI I/O assemblies (最大 2 つ), IB6, IB8, CPCI	F540-4616 F501-4617
2	System Controller board, SSC1	F501-5407
3	System Controller board, SSC0	F501-5407
4	Fan tray, FT0	F540-4345
5	AC input box, AC	F540-4346
6	Air outlet screen	F540-4636
7	CPU/Memory boards w/ 2 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory (最大 3 つ), SB0, SB2, SB4 CPU/Memory boards w/ 4 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory CPU/Memory+ boards w/ 2 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 1050 MHz, 0 MB memory	F540-4729 F540-4730 F540-5051 F540-5052 F540-5267
8	Repeater boards (最大 2 つ), RP0, RP2	F501-4953

番号	説明	パーツ番号
9	Fan tray, FT2	F540-3586
10	EMI Clip (シャーシの右側、SB4 の奥)	F240-3920

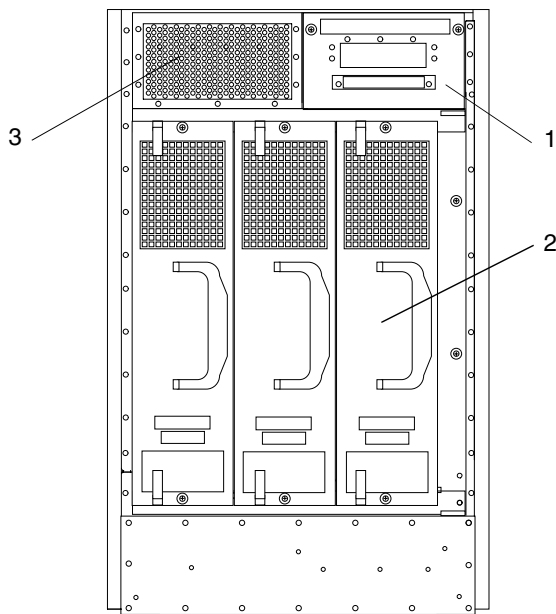


図 C-5 Sun Fire 4800 システム (正面図)

番号	説明	パーツ番号
1	Fan tray, FT1	F540-4344
2	Power supplies (最大 3 つ), PS0 ~ PS2	F300-1460
3	Air inlet screen	F240-3534
	Centerplane	F501-5877
	ID source board	F501-5880
	Cable, system centerplane power	F530-2886
	Cable, fan, and I/O centerplane	F530-2887

Sun Fire 3800 システムの交換部品

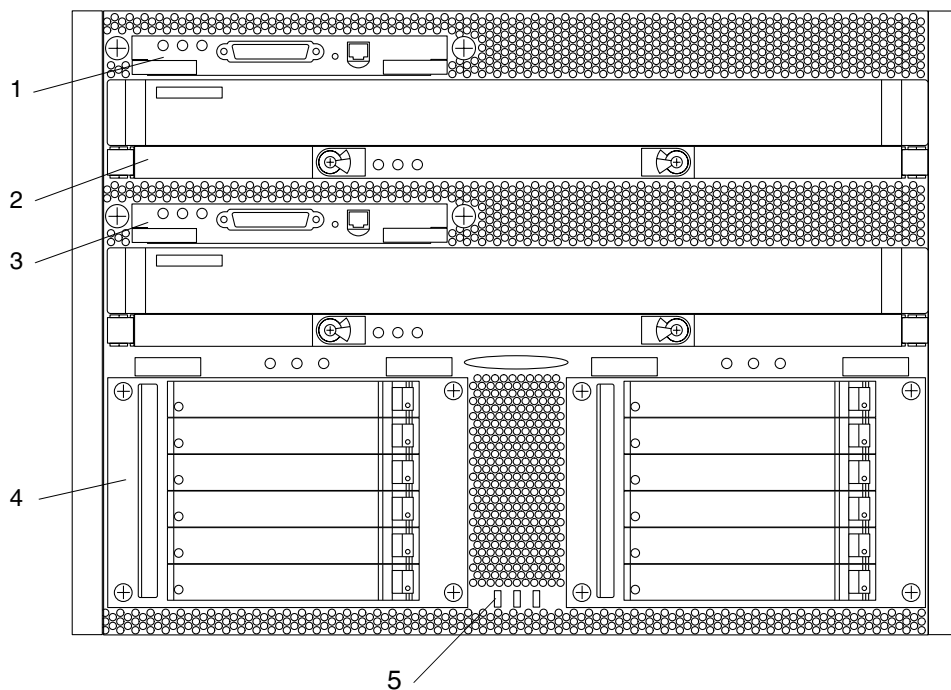


図 C-6 Sun Fire 3800 システム (正面図)

番号	説明	パーツ番号
1	System Controller board, SSC1	F501-5563
2	CPU/Memory boards w/ 2 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory (最大 2 つ), SB0-SB2	F540-4729
	CPU/Memory boards w/ 4 CPUs, 750 MHz, 0 MB memory	F540-4730
	CPU/Memory+ boards w/ 2 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory	F540-5051
	CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 900 MHz, 0 MB memory	F540-5052
	CPU/Memory+ boards w/ 4 CPUs, 1050 MHz, 0 MB memory	F540-5267
3	System Controller board, SSC0	F501-5563
4	Compact PCI I/O assemblies (最大 2 つ), IB6, IB8	F540-4591
5	System LED board	F501-5569
	Centerplane	F501-5876

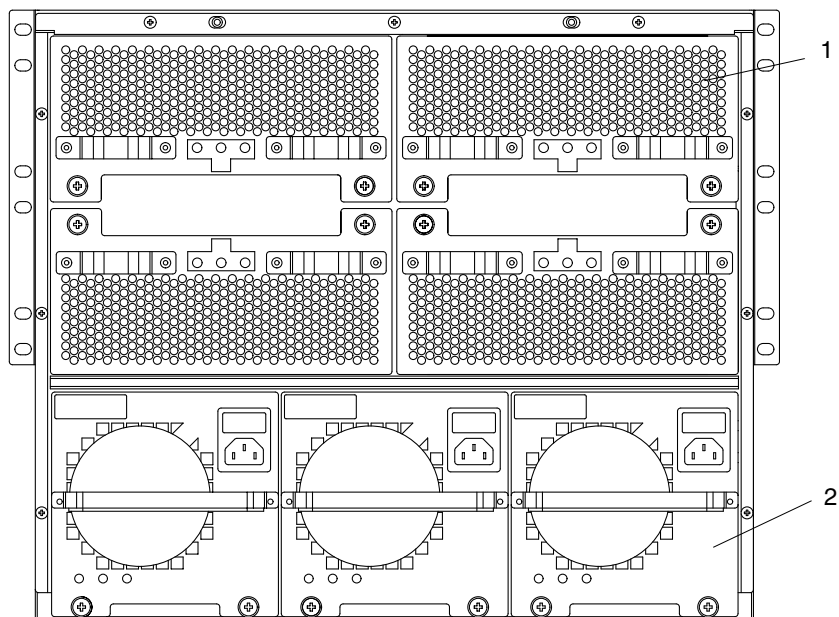


図 C-7 Sun Fire 3800 システム (背面図)

番号	説明	パーツ番号
1	Fan trays (最大 4 つ), FT0 ~ FT3	F540-4193
2	Power supplies (最大 3 つ), PS0 ~ PS2	F300-1441